



復興平和記念像(八幡東区)

## 二月定例会

昭和六十一年二月北九州市議会定例会を二月二十六日から三月二十六日までの二十九日間の会期で開きました。

今議会に市長から提出された議案は、六十一年度当初予算案二十四件、専決処分報告議案二件、条例議案十四件、六十年度補正予算案十四件、その他の議案二十件の合計七十四件でした。

六十年度補正予算案等については、それぞれ所管の常任委員会に付託して審査したのち、三月十四日の本会議でこれらの議案すべてを可決しました。

また、六十一年度当初予算案及びこれに関連する議案については、予算特別委員会を設置し、三つの分科会にわかれて審査したのち、三月二十六日の本会議においてすべてを可決しました。

一方、議員から提出された議案は、九件で、そのうち八件を可決し、一件を否決しました。

# 六十一年度予算決まる

## 総額七千三百二億一千万円

### 市長提案理由説明(抜粋)

北九州市は、市制施行二十三周年を迎えました。今日まで社会資本の整備に努力されてこられました市民各位に心からの感謝を捧げるものであります。

さて、日本の経済社会には、昭和五十年代に入って、大きな地殻変動が進行しております。

このような変動のもとたらずさまざまの問題と取り組み、明るくすこやかな地域社会づくりをめざして、昨年三月「さわやか北九州プラン」を策定しました。このプランは、市の行政のあらゆる分野にわたって、相互の緊密な連携を保ちながら、事務事業を推進することをめざしておりますが、とくに当面本市の緊急な課題として、都市型産業の育成誘致、都市再開発の促進、行政改革の実行などに



力点を置くとともに、地域指定を受けました国の「地域経済活性化

対策」に基づく財政措置を活用しながら、我がまちの振興を図っていきなさいと考えております。

現下の地方財政をとりまく環境は、ますます厳しいものがあります。国は昨年度を上回る補助負担率の引き下げを行うこととしております。これに対し、反対運動を行ってきた結果、救済措置が講じられることとなったものの、個々の自治体への具体的な財政措置は、いまだ不明確であり、財政運営上十分な配慮が必要であると考えます。

### 決まった主なもの

#### 市長提出

- ◎六十一年度当初予算
- 一般会計
  - 一、五八三億七、七〇〇万円
  - 二、六四九億七、八一一万円
  - 三、五八三億七、七〇〇万円
- 普通特別会計(十八会計)
- 企業会計(五会計)
  - 一、〇六八億五、九二二万円
  - 二、〇六八億五、九二二万円
  - 三、〇六八億五、九二二万円
  - 四、〇六八億五、九二二万円
  - 五、〇六八億五、九二二万円
- 総額
  - 七、三〇二億一、四三三万円
  - 七、三〇二億一、四三三万円
  - 七、三〇二億一、四三三万円
- ◎六十年度補正予算
- 一般会計
  - 七億四、〇四三万円
  - 七億四、〇四三万円
- 普通特別会計(八会計)
- 企業会計(五会計)
  - 一、三億五、七四二万円
  - 一、三億五、七四二万円
  - 一、三億五、七四二万円
  - 一、三億五、七四二万円
  - 一、三億五、七四二万円
- 総額
  - 二一億五、四五〇万円
  - 二一億五、四五〇万円

- ◎北九州市国民健康保険条例の一部改正
  - 国民健康保険料の負担の適正化等を図るため、賦課限度額等を改めるもの
- ◎北九州市都市公園霊園及び駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正
  - 志井ファミリープールの使用料の設定及び都市公園占用料の改正を行うもの
- ◎北九州市教育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正
  - 守恒中学校の新設などにより、関係規定を改めるもの
- ◎カネミ油症患者の救済に関する意見書
- ◎森林・林業の活性化と国有林野事業再建に関する意見書
- ◎過大規模校の分離促進に関する意見書
- ◎私学助成制度の充実強化に関する意見書
- ◎戸畑公共職業安定所及び洞海湾労働公共職業安定所の存続を求める意見書
- ◎新北九州空港の早期着工に関する意見書
- ◎大幅減税の実施に関する意見書

### 人事紹介

二月定例会において、次のかたがたが決まりました。(敬称略)  
北九州市固定資産評価審査委員会委員

- 坂石照太郎
- 人権擁護委員候補者
- 堤 誠
- 藤井 秀明
- 伊藤ヨシエ
- 脇山ヨシノ
- 香月 克彦
- 白石 止
- 佐藤 進
- 浦井 龍章
- 原田恵美子
- 小倉北区選挙管理委員
- 吉本 清
- 澤江マサミ
- 古賀 一郎
- 山田 正三
- 小倉南区選挙管理委員
- 中嶋 直道
- 勢島 實
- 田中 和子
- 森 一之
- 八幡東区選挙管理委員
- 高原 章
- 山内ヒサ子
- 瀬戸崎磐夫
- 古賀 隆
- 八幡西区選挙管理委員
- 竹内 英男
- 田中 善一
- 寺坂カタエ
- 濱野 義男
- 北九州市門司区農業委員会委員
- 安部 誠

### 宮本直道議員逝去

宮本直道議員(門司区選出 五十四歳)が、昨年十二月二十二日にご逝去されました。同議員は、経済港湾常任委員会委員長などの要職を歴任され、市政に大きく貢献されました。

ここにつつしんで故人のごめい福をお祈り申し上げます。

### 質疑 応答



本会議で十九人の議員が、市長から提出された議案等について、代表質疑と一般質疑を行いました。  
その中から主なものを取り上げました。

### 本市の財政構造は

**議員** 六十一年度当初予算では、公債費比率が十四・七パーセントとかなり高くなっています。また、人件費、扶助費、公債費等の義務的経費も、前年度に比較して三・一パーセント伸びています。本市の財政構造に問題はありませんか。

**市長** 本市の公債費比率は指定都市の中でも高い水準となっております。これは、過去に道路、学校、市営住宅等の社会資本の整備を積極的にすすめるために市債を活用したためです。

また、地方財源の不足を補てんするため発行した財源対策債等の償還費が増大し、その反面、市税等の一般財源収入が伸び悩みの傾向にあることなども原因となっております。

しかし、本市では、今後厳しい財政状況が続くことを予測して、ここ数年、重点的、計画的な事業執行、市債の適正な借り入れ等に努めてきた結果、公債費比率の伸びは鈍化の傾向にあります。

また、義務的経費についても、ここ数年、計画的な財政運営に努めた結果、伸びが鈍化しつつあり、財政構造の硬直化に歯止めがかかってきています。

今後、効率的な行政運営を行い、財政の健全性の確保に十分留意していきたいと考えています。

### 今後の財源確保は

**議員** 六十一年度末の市債残高見込みは、本市の一年分の予算に匹敵する額となっております。

しかも、当初予算では、総合基幹病院の基本設計、東部勤労婦人センターの建設、保健・医療の学会や文化活動への助成など六十九項目の新規事業が盛り込まれています。

今後の財源確保について、どのように考えていますか。

**市長** 六十一年度当初予算については、単に本年度の収支を図るだけでなく、将来の市財政の健全性確保に十分配慮しながら編成しました。

新規事業については、将来、相当額の事業費を要するものがいくつか含まれています。

必要な財源については、国庫補助金の確保を積極的に図るとともに、単独事業には、国の地域経済活性化対策に基づく特別の地方債措置を活用していく考えです。

また、中・長期的には、財源確保のため都市型産業の育成や誘致が必要で、そのために、企業立地促進資金の貸付利率の引き下げ、貸付限度額の大幅な拡大等とともに、都市再開発の促進、交通・通信体系の整備、人材育成、産業基盤の整備等、各般の施策を確実に推進していきたいと考えています。

### いじめ防止の手引書の活用を

**議員** いじめが原因と思われる児童、生徒の自殺が、全国各地で続発し、大きな社会問題となっております。

このたび、市では、いじめ防止の手引書を発行したと聞いていますが、その内容と今後の対策はどのようになっていますか。

**教育長** この手引書は、現代のいじめの特徴、学級担任の役割、指導上の留意点等を子供達の一日の学校生活の中で、各場面に合わせてポイントを示し、教師用によりわかりやすく作成したものです。

この手引書の活用により、個々の教師がいじめに具体的に対応できるように指導体制を確立していきたいと考えています。

さらに、六十一年度からいじめ一〇番を設置し、平日は午後五時から九時まで、子供達からの電話による相談に必ず体制を整えていきたいと思っています。

### 内陸型、都市型産業の誘致を

**議員** 本市は、これまで臨海部の埋め立てを行い、企業誘致に努めてきました。

しかし、今後は、内陸型、都市型産業の誘致が必要だと思えますが、どのような施策を考えていますか。

**市長** 本市には、埋め立て地だけではなく、内陸部にも工場に適した場所が数多くありますが、市街化調整区域については、これまで開発行為に制約がありました。

しかし、この問題について、建設省との協議がおおむね整いましたので、誘致企業については、六十一年度から許可基準を緩和したいと考えています。

今後、企業立地促進資金融資制度の活用とあわせて、内陸部にも積極的に企業を誘致したいと考えています。

また、埋め立て地についても、都市型産業の立地も考えながら、利用を図っていききたいと思っています。

### 新北九州空港の採択は

— 空港整備計画 —

**議員** 第五次空港整備五か年計画が、今年の夏頃までに閣議決定されると聞いていますが、新北九州空港の採択の見通しは、どのようになっていますか。

また、新空港への道路建設などの交通対策については、どのように考えていますか。

**市長** 新空港建設の当面の課題

は、第四次に引き続いて第五次空港整備五か年計画に採択されることと、新空港の建設位置を早急に決定していただくことです。

第五次空港整備五か年計画に採択されるよう、昨年以來、活発な陳情を行っています。

また、建設位置については、苜田沖の土砂処分場が適当であると見ており、今後の埋め立て申請の段階で、土地利用の目的を「空港」と明示していただくよう、国と折衝を続けていくところです。

**企画局長** 交通対策については、新空港の位置決定にあわせて、具体的な整備計画の策定を行い、市内の交通体系整備との整合性を検討し、周辺市町村及び県を含めた総合的な対応を図っていききたいと考えています。



### 第三回西日本 国際見本市は

議員 本年十月、第三回西日本国際見本市が予定されています。

見本市の開催は、国際都市としての本市のイメージを向上させるとともに、海外製品の輸入を促進させ貿易摩擦解消の一助にもなると思います。

見本市の開催計画と特色はどのようになっていますか。

また、昨年のインポート・パザール北九州の際には、大変な交通渋滞が発生しましたが、今回の対策はどのようになっていますか。

市長 西日本国際見本市は、過去二回とも相当の成果をあげています。

今回は、世界の食品とギフト用



83西日本国際見本市

品というテーマで、十月八日から二十一日までの二週間、西日本総合展示場で開催します。

出品国数は三十数か国、入場者数は約四十万人を見込んでいます。今回の特色は、見本市という性格を強めるために、バイヤーの商談のためのビジネスデーを設けることなどです。

また、交通対策については、マイカー利用の自粛をPRするとともに、会場の駐車場のほか、周辺の民間駐車場を借り上げることにしています。警察とも十分連絡をとり、交通が渋滞しないよう努力したいと考えています。

### 女性に門戸の開放を

—消防士など—

議員 消防業務には、女性職員で行った方が効果がある業務があります。

男女雇用機会均等法が四月に施行されるのを機会に、消防士に女性を採用する考えはありませんか。また、機械や電気の技術職員についても、女性に門戸を開放する考えはありませんか。

市長 女性については、労働基準法で深夜業、危険有害業務の就業が禁止されているので、災害現場活動が主な業務である消防士にはこれまで採用しておらず、また、機械、電気の職は、交替制による夜間勤務に従事する者が半数を占めているので、男性に限って採用してきました。

しかし、消防の仕事のなかには、自主防災活動の指導や、防火広報等、女性の特性が生かせる業務も

あり、機械、電気の職についても、現在では夜間業務の委託により昼間勤務の職員の比率が高くなっています。

女性の採用については、男女雇用機会均等法の趣旨を尊重して前向きに検討したいと考えています。

### 特色ある公園づくりを

議員 本市を代表するような魅力ある公園づくりは、市民意識を高め、市のイメージを一新するものと思います。

しかしながら、本市の大型公園には、特色ある施設が少なく、憩いの場としての魅力に欠けるとの指摘があります。

既設の公園や将来計画されている公園について、整備はどのように考えていますか。

また、健康都市宣言の趣旨にそって、市民が健康管理のため、気軽に利用できるジョギングコース等を公園に設置してはどうですか。

市長 都市公園の整備にあたっては、各区を代表するような大型公園に、四季を通じて多くの人が楽しめるような名所づくりをすめたいと考えています。

たとえば、関門の潮流を展望できる観潮広場や都心で水に親しめるせせらぎ広場、あるいは大芝生広場や大規模な花園等を造ってみたいと考えています。

ジョギングコースは、現在、小倉城と金比羅池のまわりに設置していますが、今後は地域の中心となる公園の園路に、距離マークを設置したいと思っています。



観田せせらぎ広場

なお、金比羅池については、照明を設置し、夜間でもジョギングが楽しめるようにする予定です。

### 総合保健センターの構想は

構想は

議員 近年、高齢化などに伴い、医療ニーズの多様化、複雑化がすすんでいるため、新しい保健医療対策が必要となっています。

市民の健康づくりに必要な基礎的条件を整備することが行政の役割と考えますが、「さわやか北九州プラン」に掲げられている総合保健センター（仮称）はどのようなものですか。

市長 総合保健センターは、市民の健康保持や健康増進を図るために、総合的な保健施策を推進する中心となる施設にしたいと考えて

います。事業内容については、健康増進、保健医療情報、教育研修の各部門が考えられます。

また、現在、小倉北区井堀にある夜間・休日急患センターを合置することも考えられます。

他都市には、このような大きな構想に基づく施設は設置されていませんので、六十一年度に建設計画準備委員会を設置し、その中で検討していただきたいと考えています。

### 任意就労事業の内容は

—失業対策事業—

議員 失業対策事業は、五十五年、労働省において事業終息の方針が出され、六十一年四月から、六十五歳定年制が施行されようとしています。

定年制の施行に際して、新しく任意就労事業が実施されますが、どのような内容で、いつから行われるのですか。

建設局長 任意就労事業は、失業対策事業から引退する人々の生活の急激な変化を緩和するため、若干の収入を得ようとする人に対して、国が失業対策制度改正の過渡的措置として行うものです。

対象者は、原則として六十五歳以上七十歳未満の者ですが、当初は七十歳以上でも二年間は就労できます。

対象人員は引退者の三割程度で、一人一か月あたり十日の就労を上限としています。また、事業の開始時期は今年の八月頃になる予定です。

### 保険料滞納と保険証交付

国民健康保険

議員 国民健康保険証の未交付世帯は、全加入世帯の六・五パーセントに達し、未交付理由は保険料滞納が大部分を占めています。国民皆保険の趣旨から、この未交付の措置は、改めるべきだと思いますが、どのように考えていますか。

民生局長 国民健康保険の被保険者は、保険給付を受ける権利とともに保険料納付義務があり、その納付によって保険制度が維持されています。このため、保険料滞納者に対して適切な措置をとらなければ、保険料納付者との間に負担の公正を欠くことになるだけではなく、保険制度の維持が困難となります。したがって、保険証の交付と保険料の納付を切り離して考えることはできません。

滞納者対策については、いずれの市町村においても苦慮しており、政府は、この問題を解決するため、法律の改正案を今国会に提出しています。

### 総合基幹病院建設へ

議員 総合基幹病院を、市立小倉病院の現在地に建設する計画が明らかになっています。

市立小倉病院の診療を継続しながら建設を行った場合、患者の安全対策や複雑な施工手順など、種々の問題が発生すると思われる。どのような方法で工事をすすめるのですか。

また、建設に七年の年月を要すると聞いていますが、この間の診療体制に支障はありませんか。

病院局長 総合基幹病院の建設場所は、北九州市全域から利用しやすい交通至便な場所、医療環境等を考慮して、市立小倉病院の現在地に決定しました。

建設については、六十一年度に基本設計を行い、六十三年度頃から工事に着手する予定です。実際の工期は四年程度になりますが、この間、十分対策を講じながら、患者に迷惑のかわらないよう配慮していきたいと考えています。

施工手順としては、外来棟を仮設した後、現在の外来棟は撤去し、その跡地に新棟を建設したいと考えています。



市立小倉病院

### 経済開発セミナーの成果は

議員 経済の活性化は、本市の最重要課題となっています。

本年二月、企業誘致のため、東京で北部九州経済開発セミナーが開催されましたが、どのような成果があったのですか。

また、企業誘致について、どのような方針で取り組むのですか。

市長 企業誘致については、本市のもつ有利な条件を全国的に宣伝し、本市を新しい時代の工業団地の適地として認識していただくことが、これからは必要であると思っています。

北部九州経済開発セミナーは、約百社、百四十人の参加があり、大変な盛況で、早速、一つ成果がありました。

セミナーの成果をある程度整理して、大阪や名古屋地区においても同様の説明会を企画したいと考えています。

しかし、セミナーを開催すれば、直ちに本市へ企業が立地するといえるものではありません。

今後とも、参加した企業の反応を確かめながら個別に訪問を行わなければならないと思っています。

### 空かん、空びんの散乱防止を

議員 都市景観条例の施行を契機に、市内四か所の地区が都市景観整備地区に指定されています。

しかしながら、この地区の道路の中央分離帯などには、空かん、空びん等が多く散乱しています。

本市の中心的な大通りを条例で「空かん、空びんの投げ捨て禁止地区」に指定し、立札を立てて、ドライバーや通行人に注意を喚起すべきだと思いますが、どのように考えていますか。

市長 まちの美化については、まち美化推進モデル地区に対する助成、ボランティアの育成、表彰、ごみゼロの日のキャンペーン等、各種の啓発活動を行い、市民意識の向上に努めています。

また、駅前広場、繁華街等では計画的な清掃を実施していますが、六十一年度は、景観作業班を一班増やし、散乱ごみ対策を強化したいと考えています。

なお、空かん、空びん等の散乱防止を内容とする条例については、他都市では、条例制定当時、一時的に市民意識を高める効果があったものの、あまり永続性がないものとなつていますが、今後とも、調査研究を続けていきたいと考えています。

### 入居基準の改定を

市営住宅

議員 市営住宅に入居するための収入基準が、実情に合わなくなっています。

入居基準の改定について、国にどのように働きかけていますか。また、空き家住宅の入居者募集については、現在、年二回行われていますが、その回数を増やすことはできないのですか。

建築局長 市営住宅に入居するための収入基準は、全国同一で、おおむね三年ごとに国が改定を行



市営住宅

現在の基準は、五十七年に改定され、三年以上経過しているため、現状に合わない面も出ています。

このため、本市は、収入基準の改定を他都市とともに国に要望してきました。

現在、国において、収入基準の改定を準備中であり、その内容が四月に明らかにされ、六十一年度の早い時期に実施される予定です。また、市営住宅の募集回数を増やすことは、現行の体制では困難です。

六十一年四月からの電算システムの導入をスタートとして、さらに事務手続や体制の見直しを行い、その中で募集回数を増やすことも検討していきたいと考えています。

# 予算特別委員会

三月十四日に設置された予算特別委員会は、二つの分科会にわかれ、七日間にわたって審査を行いました。その中から質疑応答の主なものを取り上げました。

## 第一分科会

### 超過課税の

#### 今後の使途は

— 法人市民税 —

**委員** 法人市民税の超過課税制度が五年間延長されますが、どの程度の税収が見込まれるのですか。

また、この税収は、今後どのような事業に使用されるのですか。

**当局** 今後、多額の財源が必要となるため、法人市民税の超過課税制度の五年間延長をお願いしています。

その税収は、再開発事業、若戸大橋拡幅工事関連等の街路事業や国際交流センター建設事業等の財源に充当したいと考えています。なお、今後の税収については、景気の動向に左右されるため、正確に見積ることは困難ですが、六十一年度当初予算では、六十一年度決算見込み額二十六億円と同程度を計上しています。

### 来年開校

— 職業訓練短期大学校 —

**委員** 職業訓練短期大学校が、六十二年四月に開校されると聞いています。

産業界においては技術革新の進展に伴い、新しい時代に対応できる人材の養成が急務となつていますが、設置訓練科目などどのようなようになっていきますか。

**当局** 職業訓練短期大学校の設置は、長期的、恒常的な人材育成を可能とし、北九州の産業経済の活性化に大きく寄与するものと考えています。

訓練科目は、電子機械科、運輸機械科、建設科、工芸デザイン科、電子科、情報処理科、印刷技術科の七科目の予定です。

カリキュラムの編成は、先端技術を取り入れた最新の内容とするよう検討がすすめられています。また、学校の規模は、一科一学年二十人の募集人員で全学年二百八十人となります。それに約百人の職員が配置される予定です。

## 第二分科会

### 新食肉センターの

#### 内容は

**委員** 市民に新鮮で安全な食肉

を供給するため、新食肉センターの建設計画が、六十三年度開設をめぐり、六十二年四月に開校されると聞いています。その内容はどのようなものですか。

### 当局

新食肉センターは、食肉衛生検査所を整備し、精密検査の機能の充実と技術の向上を図ります。また、一般検査についても、移動式検査台、検査保留冷蔵庫等を設置し、検査の迅速化、精密化を図っていきたくと考えています。

さらに、冷凍機の集中監視制御方式や中水道を採用し、より効果的な運転を行い、エネルギーの節減を図りたいと考えています。

なお、公害防止については、緑化をはじめ悪臭の発生源となる設備の密閉化、脱臭装置の設置、廃棄物処理場の集約等によって周辺地域に迷惑をかけないように計画していきたいと思つていきます。

### フェリー基地の

#### 移転計画は

**委員** 新門司地区に、フェリー基地を移転整備する計画があるようですが、順調にすすんでいるのですか。

また、移転後の利用客の利便性や企業誘致を考えた場合、九州縦貫自動車道の新門司インターチェンジの設置が望まれますが、現在どのようなようになっていきますか。

**当局** フェリー基地の移転については、国の特別整備事業として実施することになりました。

これにより、六十一年度は、岸壁、泊地の整備を実施することにしており、移転計画は順調にすすんでいます。

六十三年度に事業を完了させ、六十四年には第一便が就航できる予定です。また、新門司インターチェンジ

の新設については、建設省や日本道路公団に陳情を行つています。早期実現に向けて、なお一層努力したいと思つていきます。

## 第三分科会

### 民間委託へ

— 皇后崎下水処理場 —

**委員** 皇后崎下水処理場が民間に委託されると聞いています。

その結果、慣れた職員を配置転換することになり、職員の能力活用から問題はありませんか。また、委託化により、浸水被害を受けるなど、市民に不安を与えるのではありませんか。

**当局** 下水道事業には、一般会計から多額の繰り入れを行つており、また、ばく大な起債残がある

ことから、より一層の経費の節減が望まれています。

民間委託により節減される経費は、財政事情の厳しい本市にとつて、決して小さい額ではないため、是非、実施したいと考えています。また、配置転換の職員の処遇については、基本給の保障を行うとともに本人の意向を聞くなど、できるだけの措置をとりたいと考えています。

なお、他の処理場は民間委託を実施しており、委託化が浸水事故につながるものではありません。今後とも、万全の体制をとつていく考えです。

### 体育館の跡地利用は

— 北九州大学 —

**委員** 北九州大学において、開校四十周年記念事業として、体育館が建設されています。

現体育館跡地に、かねてから要望のある学生寮を建設する考えはありませんか。

また、体育館建設を契機に、体育学科を新設する考えはありませんか。

**当局** 学生寮は、五十九年の大学評議会において、建設しないという方針が出されています。現体育館の跡地については、芝生広場として整備していきたいと考えています。

また、学部、学科の新設については、文部省の厳しい基準があるため、困難な状況ですが、大学の充実については、今後とも、前向きに検討していきたいと考えています。



分科会の審査風景

〔全世帯配布〕

〔編集〕

北九州市議会事務局

〔印刷〕

株式会社 天地堂印刷製本所 (小倉北区)